2017. 8. 6.
男女共同参の視点とともに減災をめざす　公開研究会

東日本大震災現場【福島県いわき市】からの報告

子育て･女性の健康支援NPO活動における
防災の取り組み

特定非営利活動法人　Commune with 助産師
草野　祐香利

特定非営利活動法人　Commune with 助産師

NPOこみゅーん　活動の理念

【行動指針】
- 太陽のような志
- 地域のオアシス
- 響き合うこころ

助産師の倫理に基づいた母子や家族の
保健・医療・福祉の向上に寄与する、心が通い合う地域づくり

- 全てのいのちへの感謝と幸せな誕生、 安心して子どもを産み育てられる社会
- 夢や希望，幸せに生きる権利が尊重される豊かな子育ちができる社会

NPO こみゅーん

子育て･女性の健康 コミュニケーション＆ コミュニティ

特定非営利活動法人
こみゅーん うぃず
Commune with 助産師
NPOこみゅーん

～プレ妊娠期からの子育て・女性の健康支援～

- 地域子育て支援活動：2006年9月～
  ＊出張開業助産師
- NPO法人化　　：2009年4月1日
- こみゅーん助産院開設：2010年8月1日
  ＊保健指導型有床助産所

Happy Birth ♥

全てのいのちが愛しい

すべての女性に助産師と支えんを！

正会員　：18名
（助産師13名、看護師1名、
栄養士1名、子育て支援者3名）

準会員　：40名
（ホームビジター 36名、地域支えんPJ 4名）

賛助会員：5団体7個人

こみゅーん助産院

Happy　birth　全てのいのちが愛しい❤

♥妊婦健診
♥妊産婦健康教室
　①お産の楽講
　②母乳の楽講
　③マタニティクッキング
　④骨盤ケア・体操(YOGA)
♥妊娠・出産・育児相談
♥授乳相談・母乳ケア
♥産前産後訪問
♥産後ケア（通所・宿泊）
　［いわき市産後ケア事業受託］
♥助産師のいるサロン
♥離乳食教室
♥育児用品レンタル：ﾍﾞﾋﾞｰﾊﾞｽｾｯﾄ
♥いのちと性の講話

こみゅーんクラブ

ママがいきいき！家族が元気！
子育てEnjoy　Time♪

★ハンドメイド
★０歳親子の交流ひろば

ホームスタート・こみゅーん

【家庭訪問型子育て支援】

子育て一人で頑張りすぎていませんか？
あなたの心に寄り添います。

・６歳以下の未就学児のお子さんがいるご家庭に、研修を受けた先輩ママがボランティアでお伺いし、【傾聴】と【協働】をします。

いわきの子育てサポーター検索サイト「いわさぽ」

・いわき市内の子育てを応援する「地域の子育てサポーター」情報提供
・ 子育て女性の健康メルマガ配信

● いわき市と 東日本大震災・東京電力福島第一原発事故

【いわき市の被災状況】

①3.11　14時46分　大地震：震度6弱

→　家屋の全半壊25000戸

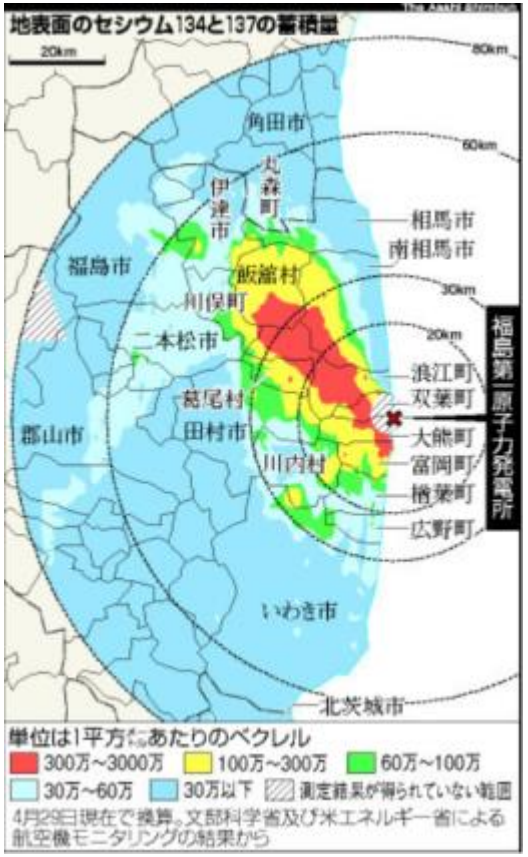
火災11件、　ライフライン寸断

②大津波：5～9m

→　死者約300名、行方不明者40人

③原発事故：放射性物質飛散

→　風評、避難、転入



【いわき市の人口　】

33万人　（→　32万人）　⇒　H28：34万人

・避難所　3月12日時点で約130ヶ所開設

※最大避難者数約2万人，避難･転居を余儀なくされた市民約7000名

NPOこみゅーんの被災支援活動
●発災時

- 生後2ヶ月児の授乳相談をしていた。　落下・転倒物を回避し、母子の安全確保を第一に誘導した。
- 事業所のライフライン確認と戸締りをし、職員も15時半には帰宅、自宅待機とする。
- 当日、分娩施設として借用できないか、入所受け入れ可能かの問合せ等、医療機関・保健所よりあり。
- 管理者は出張により不在、3月13日未明にいわきに戻る。
- 3月13日の夜までに、NPO法人会員全員の安否と所在、支援活動実施についての可否を携帯電話とメールで確認できた。

NPOこみゅーんの被災支援活動
●発災後初動期　ー　緊急的支援

①保健所・母子保健係への連絡：3月14日
②こみゅーんクラブ会員(妊婦・乳幼児のいる母親)全員へ安否確認メール通知：3月18日
③関係団体(うつくしまNPOネットワーク他)との連絡・連携
④ホームページへの「こみゅーんができること」記事up
⑤メール未受信のこみゅーんクラブ会員さんへの電話連絡
⑥団体内に緊急災害支援活動プロジェクト開設：3月23日
　→市HC母子保健係、市内産婦人科・避難所巡回
⑦妊産婦・乳幼児家庭への災害支援活動開始：3月25日
⑧市外からの災害支援（物資、マンパワー、情報、義捐金）の受入
⑨被災・原発事故におけるニーズの再把握　：4月中旬～
　→行政、避難所、保育所、幼稚園、会員把握
⑩長期化に向けての支援活動の確認　：5月15日〔NPO総会〕

新着情報：東北地方太平洋沖地震　ー　NPOこみゅーんができること

投稿者：kusano 投稿日時：2011-03-20 (837 ヒット)

今回の大地震では、東北･北関東太平洋沿岸そして隣接地域に住む多くの方におかれまして、いのちと生活が危機にさらされ、今なお生活困難な状況に脅かされている現状、大変苦慮され心痛の極みと思います。

私達の福島県･いわき市においては、津波による家屋損壊やライフライン･物資不足により避難所生活をされている方、ガソリン不足や屋内退避で自宅に閉じ込められた状態にある方、動ける方は自主避難をしている状況です。

医薬品やライフラインの確保ができず、止む無く閉鎖に至った産科施設もありますが、震災後の今も新しいいのちの誕生･希望の産声を聞くこともできています。一人一人が懸命に頑張っている毎日です。

NPOこみゅーんとしては、いわき市内全体の状況を十分把握できてはいないのですが、日々深刻化していく状況の中、地域の人々…特に妊産婦さんや産後間もない母子やご家族、小さなお子さんの支えとなれるよう、微力ながらできるだけのことをしていきます。

NPOこみゅーん事業所と事業所内に併設する「こみゅーん助産院」が安全に利用できるようになるまでは、

①電話【0246-23-3303】 と メール【cw-jyosansi@fuga.ocn.ne.jp】により、妊娠･出産･赤ちゃん（母乳）育児のご相談をお受けしております。

②「日本助産師会福島県支部」や「うつくしまNPO」「いわき緊急サポートセンター」など関係団体との連携協力により、赤ちゃん育児用品の調達･県外への避難の受け入れ先紹介などのお手伝いをいたします。
心配や困りごとがありましたら、ぜひご連絡ください。

☆会員の皆様☆

E-mailアドレス確認できた方には、メールをお送りさせていただきました。
メールをお届けできない会員の皆様･ご家族の皆様ご無事でしょうか。
大地震による被害が大きく、現段階ではNPOこみゅーん運営の見通しをもてていません。
こみゅーん事業所が安全な場所として再開できるようになりましたら、改めてご連絡いたします。
今までにない辛く苦しい体験を余儀なくされることと思いますが、
子宮の中で、胸の中で、 お子さんをしっかりと抱きしめてください。
また笑顔でお会いできる日まで、同じ空の下、共に乗りこえていきましょう！！

支援いただきました内容のご紹介

（4月26日現在）

3月26日	うつくしまNPOネットワーク　いわき基地様	オムツ、粉ミルク、電気ストーブ　他
3月30日	斉藤大介様（株式会社進和興産）	オムツ、粉ミルク、水
	金成直樹様（有限会社ぐるっといわき）	子供服（2箱）
3月31日	Umiのいえ様（横浜市）	スリング、ベビーフード、他
	ダスキン様（ノブマタニティクリニック様紹介）	水（24本入り20箱）
4月1日	大牟田智子様（春日助産院）	消毒液（2箱）
4月2日	被災地NGO協働センター様（神戸市）	アレルギー用ミルク（100缶）
4月4日	母子疎開支援ネットワーク「hahako」・相馬光様	避難・疎開受け入れ情報
4月5日	被災地NGO協働センター様（宮崎県）	ダイコン（8箱）
	オフィスマガジン様（東京都）	文具、オフィス用品
4月6日	Umiのいえ様（横浜市）	文具多数、子供服（4箱）
	菊地栄様（東京都）	文具多数、避難情報、放射線情報
4月12日	被災地NGO協働センター様（宮崎県）	野菜多数、ジュース、他
4月15日	被災地NGO協働センター様（宮崎県）	豚肉10kg
4月18日	BsHana母乳育児相談様（広島市）	衣料品（3箱）
	ねりじょはうすLuna　様	義援金
4月19日	国井真波様	文具多数、妊産婦さんへの情報
	佐藤マタニティクリニック様（勿来町）	文具多数
	被災地NGO協働センター様（神戸市）	文具多数
4月21日	ワイヤーママ茨城・金澤直子様	ベビー布団（トッポンチーノ）10枚
	被災地NGO協働センター様（宮崎県）	野菜多数、ジュース、豚肉

震災後、全国各地の皆様より、当地いわきの被災支援のために、あたたかいご支援をたくさん寄せていただきました。おかげさまで、市内の妊産婦さんや乳幼児家庭の支援活動の助けとなり、物資等は、被災された地域の方や、幼稚園・保育所・産婦人科・小児科などの施設、また市教育委員会などへお届けすることができました。

ＮＰＯこみゅーんスタッフ一同、心より感謝申し上げます。

がんばっぺ!!いわき!日本!
iwaki fukushima

津波被災地 豊間を眺む

たくさんの励ましや
温かいメッセージをいただ
き勇気づけられています。
本当にありがとう
ございます！！

季節が移り桜咲く 4月17日

平成23年3月~平成24年3月

☆ 自主・日本財団・HSJ・一般寄付

妊産婦・乳幼児家族の緊急被災支援

「子育ちの質を低下させない生活支援」

・避難所での相談　・炊き出し
・助産所におけるケア　・支援物資の提供
・乳幼児の遊び場確保

平成23年11月~平成25年3月

☆ 福島県地域の寺子屋事業

子育て女性の健康寺子屋・こみゅーん

「仮設住宅入居者を中心とした多世代交流子育て・女性の健康支援」

平成23年５月~平成25年9月

☆ HSJ緊急支援

☆ 被災地支援まちくるみファンド

ホームスタート
乳幼児家庭ボランティア訪問

・オーガナイザー養成
・周知活動
・利用申し込み開始（H24年2月～）
・ボランティア養成
・運営委員会設置

平成23年7月~ 平成24年3月

☆ 福祉医療機構助成

いわき地域における子育ち・子育て支援ネットワーク構築

・構築委員会（産学,福祉関係者）
・平成24年10月1日
こども♡あいネット設立

平成25年1月～12月

☆ SUNTORY × フクシマ ススム プロジェクト 福島子ども支援NPO応援

健やかな誕生と豊かに育つ地域支えん[援・縁・円・得ん]事業

全ての誕生が健やかで、
子どもも親も優しい人間関係で育ちあう。

- いのちの教育（生と性の健康）：市内小・中・高等学校10校
- 思春期ひろば「ピアスペース」
- 妊ぷ健康子育て教室
- 子育て講座（NP，ACT）
- 乳児の栄養相談＆親子体操サロン
- ホームスタート

平成27年9月~平成28年1月

☆内閣府：

平成27年度 地域における女性活躍推進ﾓﾃﾞﾙ事業

“サンシャインWomen 子ども健やか地域相互支えん〔援・縁・円〕構築事業”

中学校における防災セミナー・ワークショップ
子育て家庭　防災ミニガイド作成
地域，隣者との関係づくり推進

平成28年4月~平成29年3月

☆第14回公益信託うつくしま基金

次代を担う子どもたち~思春期・胎児期・乳児期~の健康と妊活期からの家庭を支援する地域助産師の取り組み

・助産師によるいのちの話
:市内小学校10校
・妊娠にかかわる相談支援
①助産師コール，②健やかマタニティ教室
③プレマタニティ教室
・0歳親子の交流ひろば

平成28年6月~平成28年9月

☆ JPF第25次ともに生きるファンド

親力・市民力を支えんする「いわき子ども子育てキャピタル」の復こう事業

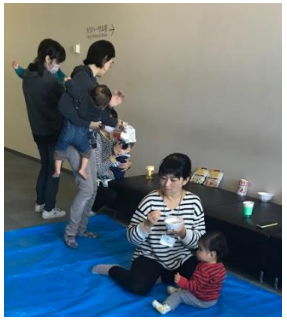
・子ども子育て情報,知識の提供
（子育てサポーター検索サイトの活用）
・ホームスタート活動の継続と充実
・子ども子育ていわきキャピタル
- 地域ネットワーク - としての組織点検強化
・災害時支援

安全災害マニュアルの作成
全国災害母子支援研修会参加
福島県防災訓練参加
子育て家庭を孤立させない支援

平成28年11月9日・30日

☆ GDRR・いわき市男女共同参画センター共催　　JEN協力

乳幼児家庭の防災セミナー　①基礎編：ハザードマップ，子連れアクティブ防災
②実践編：防災ピクニック，防災リュック，非常食



子どもの健康問題　ストレス

子育ての不安･孤立

住宅再建

若者世代流出

雇用

経済

復興公営住宅

観光不振

除染

廃炉

避難

家族形態の変化･複雑化　人口増加

風評

コミュニティ分断･軋轢

福島は今も　…課題山積！！

平成29年3月 **はぐくみ防災サポーターズいわき** 設立に参画

平成29年5月16日

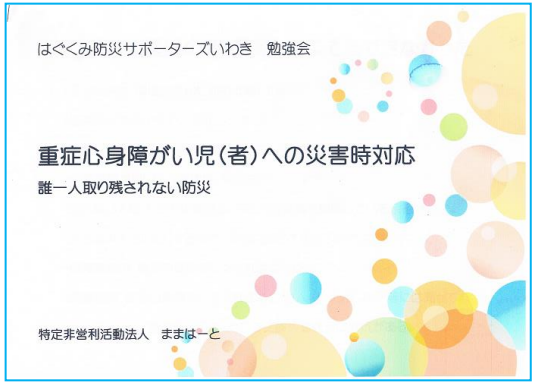
☆ JEN＆GDRR 進行・サポート　JEN協力

防災活動実践のためのワークショップ

平成29年6月30日　総会より(月1回)

☆ JEN助成

全ての子どもを育む地域防災学習会



はぐくみ防災サポーターズいわき

＊アレルギー
＊発達障がい
＊重症心身障がい

1 テーマ別学習会

＊妊産婦、乳幼児
＊ガールスカウト
＊地域子育て支援
＊マネー教育

2 防災ママカフェ

3 リーフレット作成

全ての子どもが豊かに育まれる、
誰一人取り残されることのない防災！！

【自助・公助・共助】

とよまの新しいまちづくり　～ふるさと豊間復興振興協議会

子育て応援拠点を創ろう！

豊かな
さんま
【三間】

仲間・時間・空間

2011年生まれの子ども
と家族も参加

いわき七浜：薄磯海岸　（豊間隣接）
2017夏　震災後海開き

NPOこみゅーん　・　これからも

⇒ 親子の健やかな成長・女性の健康を促進できる環境づくり

1. 全ての女性に寄り添うリプロヘルスの向上

1）マタニティケア　＊産前産後の母体の健康　＊出産準備　＊育児・家族支援

2）ウィメンズヘルス　＊思春期の性（妊娠好機、不妊を含む）　＊ヘルシーエイジング

2. 妊娠期から授乳期における健やか子ども支援

＊愛着形成　＊母乳育児　＊コミュニケーション　＊自然体験

3. 子ども子育てを中心としたコミュニティの回復

＊多世代・多様性交流　＊官・学・民・産連携

⇒　全ての地域住民を「支えん」する、緊急時体制の整備　防災減災活動

幸せな出産。愛情いっぱい子育て。
生涯いきいき。優しい社会！！

子育て女性の
ハピヘルセンター
✤妊産婦ケアホーム✤

えん（【援・縁・円・得ん】を支える…　支えん）・プロジェクト

「支えん」とは、地域において一人でも多くの人が豊かに幸せに生きていくための必要な「援」助、助け合いのこと。
助産師の専門支援とともに、人と出会いつながる「ご縁」を支え、「円」い人間・地域関係へと輪を広げるコーディネートすること、それらを主体的に「得ん（られる）」ようになることを大切にしています。